

## 平成 27 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 27 年 7 月 30 日（木）14：00～16：00

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：9 名 樋口美智子（那覇市立病院）、島袋 幸代（沖縄県立中部病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、佐渡山英子（県立宮古病院）、平良芳子（県立八重山病院）、西田悠希子（ハートライフ病院）、高良清健（友愛会ケアプランセンター）、上原弘美（豊見城中央病院）、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）

欠席者：4 名 當銘 由則（沖縄県がん患者会連合会）、石嶺彩香（県立南部医療センター・こども医療センター）、松岡栄二、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）

陪席者：4 名 宮良久美江（県立八重山病院）、古謝 （県立宮古病院）、井岡亜希子、井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

## 【報告事項】

## 1. 平成 27 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨（資料 1）

協議に先立ち、資料 1 に基づき、平成 25 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

## 2. がん患者ゆんたく会について（4～6 月）

資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、1～3 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について、報告があった。

## 3. がん相談件数（4～6 月）

資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口副部長より、各拠点病院のがん相談件数（1～3 月）について、報告があった。上原委員より、地域統括相談支援センターでは、情報提供よりも傾聴が多かったとの報告があった。

## 4. 各部会事業の進捗報告について

## (1) 【施策 1 関連】地域の療養情報 2016 年版について

資料 4 に基づき、大久保委員より、ハンドブックの第 1 回ワーキングを開催し、分担を決めて、もっと身近に感じてもらえるよう、相談センターの写真を入れたりして、ぬくもりを感じる紙面づくりをするとの報告があった。

## (2) 【施策 2】がん相談支援センターの広報について

大久保委員より、琉大事務方より、今年度も毎月無料新聞広告を継続していくとの報告があった。また、普及啓発部会と共催の ROK ラジオ番組（9 月 30 日特別番組）への出演依頼があり、今年度は中部病院の島袋委員（看護師）、琉大病院の大久保委員（MSW）の 2 名の担当が了承された。

## (3) 【施策 3】患者サロン間の情報交換会について

大久保委員より、まだ未定のため、次回部会以降の報告になり、ピアサポーターの方や當銘委員との協力を得て進めるとの報告があった。

## (4) 【施策 3】Ti-da わらば一む交流会について

資料 5 に基づき、地域統括相談支援センター安里より、琉大にて、Ti-da わらば一むの企画として、小

児がんの患児とその家族との交流会が開催され、小児がんの患児が大人になった姿を見て話を聞きたいので、今後も開催してほしいとの声があったとの報告があった。今後は、地域統括相談支援センターは相談役となり、Ti-da わらば一むが交流会などの運営を行うとの報告もあった。

(5) 【施策3】 がんピアサポーターフォローアップ研修について

資料6に基づき、地域統括相談支援センター安里より、千葉県がんセンターがん専門相談員の野田真由美さん、愛媛がんサポートオレンジの会理事の松本陽子さんを招き、10/10には模擬患者を用いて面談のスキルアップを目的に開催するとの周知があった。前日の10/9にはがん患者交流会を企画しており、相談支援部会からアドバイザー（ファシリ）を推薦願いたいとの依頼があり、琉大より大久保委員、中部病院より島袋委員が参加することで了承された。

(6) 【施策4】 就労支援関係者との意見交換会について

大久保委員より、まだ未定であるので、下半期に検討するとの報告があった。

(7) 【施策5】 相談センター満足度調査について

大久保委員より、認知度調査と満足度調査をかねてより検討していたが、国立がんセンターのPDCAサイクルの調査に便乗する形で行ってはどうかとの意見があり、協議事項のところで検討することになった。

(8) 【施策6】 相談支援センターマニュアル/内規について

大久保委員より、部会事業としても、県内6拠点支援病院の「がん相談支援センター」の内規を作成することになっているとの周知があり、琉大病院では、「がん相談支援センター」の規程を作成しており設置要項を検討中で、那覇市立病院も規程や設置要項を作成し院内で審議検討中、中部病院も来てや設置要項を作成検討中、その他の3病院はまだ作成していない状況であると、それぞれ報告があった。

(9) 【施策7】 がん相談員実務者研修会について

資料7に基づき、大久保委員より、今年度も企画をしていきたいが、グループワークも取り入れて内容を検討したいとの説明があった。高良委員より、ケアマネージャーも機会があれば参加したいとの意見があった。宮古病院佐渡山委員より、宮古病院でも、拠点病院としての研修会の企画(初歩的なものから)や相談員研修に参加したいとの意見があった。樋口副部長より、教材も国立がんセンターから入手できるので、上手く活用し事例検討なども取り入れて、今年度の研修会の内容は、回数にこだわらず共同開催も検討して、3拠点の委員で検討したたき台を提示するということで了承された。

(10) 【施策8】 6/10 都道府県第3回情報提供・相談支援部会について

資料8に基づき、大久保委員より報告があった。

資料8-3より、がん相談支援センターの活動におけるPDCAサイクルの確保について、①鹿児島県で行った「活動の見える化」の取り組み、②利用者満足度調査、③相談件数のカウント の3つをPDCAサイクルの指標として考えていくとの報告があった。

相談件数のカウントについては、施設の体制や個人でのばらつきもあるので、(1)「1回の相談」のカウント方法に追記する、(2)がん相談支援センターの相談員は、基礎研修を受講しがん相談相談支援センターに配属されている相談員とする、(3)「がん相談」は、退院調整など診療報酬で加算されるものは省くものとする、との案が報告された。

また、樋口副部長より、「認定がん相談員」「認定がん相談支援センター」の認定事業についても周知があり、国立がんセンターのHPにもあるので、各病院で確認するよう依頼があった。

(11) 【施策 8】 6/12, 13 日本医療マネジメント学会について

(12) 【施策 9】 セカンドオピニオン・アンケート調査について

資料 9, 10 に基づき、大久保委員より、県内のセカンドオピニオンのアンケート調査について、学会発表及び調査結果についての報告があった。

セカンドオピニオンは、医師の周知度は 4 年前と変わりなかったが、受信方法や料金などの仕組みを理解する医師は増加していた。S0 の仕組みは理解されてきたが、S0 に関しては医療者側からの積極的な提案はされておらず、治療の遅れや患者を混乱させるとの医療者側への不信感につながるといった間違っただ懸念（回答）が見られた。県内での S0 の活用には、県外や海外の専門的な詳細情報・治療実績が必要であり、患者さんへの啓発の必要性、それらを支援する連携や相談支援の方法も検討が必要になるとの報告があった。

資料 10 のアンケート調査結果報告書(案)は、平成 26 年 11 月～12 月に 34 病院に配布し 26 病院からの回答を得て、回収率は 42%であった。部会委員各自で内容の確認をいただき了承を得たら、回答のあった病院に郵送するので、8 月いっぱい締め切りとしてメーリングでの意見を頂きたいとの周知があった。

(13) 【施策 10】 セカンドオピニオン・リスト作成について

資料 11 に基づき、大久保委員より、琉大事務方よりセカンドオピニオン・リストの更新依頼文書を配布しているので、各病院の協力をお願いしたいとの報告があった。

## 5. その他

(1) 11/28 九州ブロック・地域相談支援フォーラムについて

大久保委員より、11/28 に、鹿児島大学で九州ブロック・地域相談支援フォーラムの開催の周知、実行委員の部会選出の依頼があった。今回は当日の参加のみとなっており、当日の運営及び発表を担っていただくことになるが、琉大からは 1 名参加の予定である。後日、あらためて実行委員についてメーリングするので、検討いただきたいとの周知があった。

### 【協議事項】

1. 沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）・相談支援部会に関する中間評価指標の進捗について

① 「がんに関する相談支援と情報提供」について

② 「がん患者の就労を含めて社会的な問題」について

資料 12-1、資料 12-2 に基づき、琉大事務方より、資料の中間評価指標の中にアンケート調査の項目を記載しており、青字はがん専門医療機関(医療者)向け、赤字は患者向けとなっているとの報告があった。

院内での協力依頼の周知のお願いと、意見があれば井上までいただければ、井岡医師に報告するとの周知があった。

2. 国がん PDCA サイクル確保のための「利用者調査」「統一相談件数カウント」参加意向について

資料 13 に基づき、大久保委員周知があり、国がん PDCA サイクル確保のための「利用者調査」「統一相談件数カウント」についての参加意向について、詳細は 10 月以降に明らかになるが、沖縄県として参加することで全員の了承を得た。ただし、自院のデータを開示してもらうことを要望することも了承され

た。

### 3. 部会活動全体についての確認

資料 14-1, 14-2 に基づき、大久保委員より、【施策 4】の就労支援関係者との意見交換会はまだ手つかずなので今後検討していくとの報告があった。琉大では、社会保険労務士の相談支援（相談員＋社労士の 2 名体制）も月 2 回金曜日に行っている所以他院でも紹介していただきたいとの周知もあった。

### 4. その他

#### (1) イベントについて

樋口副部長より、8/8 のタウンミーティング、11/14 のリレーフォーライフについての周知と、協力依頼があった。

#### (2) 宮古医療圏がん診療連携協議会、八重山医療圏がん診療協議会

佐渡山委員より、宮古協議会では、イベント共催やリレーフォーライフに協力したいとの意見があり、オープンホスピタルではがん患者会のポスター展示をしていただき協力いただき連携ができたとの報告があった。

宮良委員より、八重山協議会では、患者会からの要望に対する前回の返答で、認定看護師による出前講座などを今後も継続していくとの話し合いが行われたとの報告があった。

#### (3) 中部病院主催による「がんを知ろう」フェア について

島袋委員より、11/14 に中部病院主催で、イオンモール「ライカム」でのイベントを計画しており、医師によるミニ講演会や、栄養士・認定看護師・相談員による相談会などを予定しているので、相談支援部会でも協力をお願いしたいとの依頼があった。

#### (4) 次回、平成 27 年度第 3 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日： 平成 27 年 10 月 15 日（木）※※

第 2 候補日： 平成 27 年 10 月 22 日（木）